

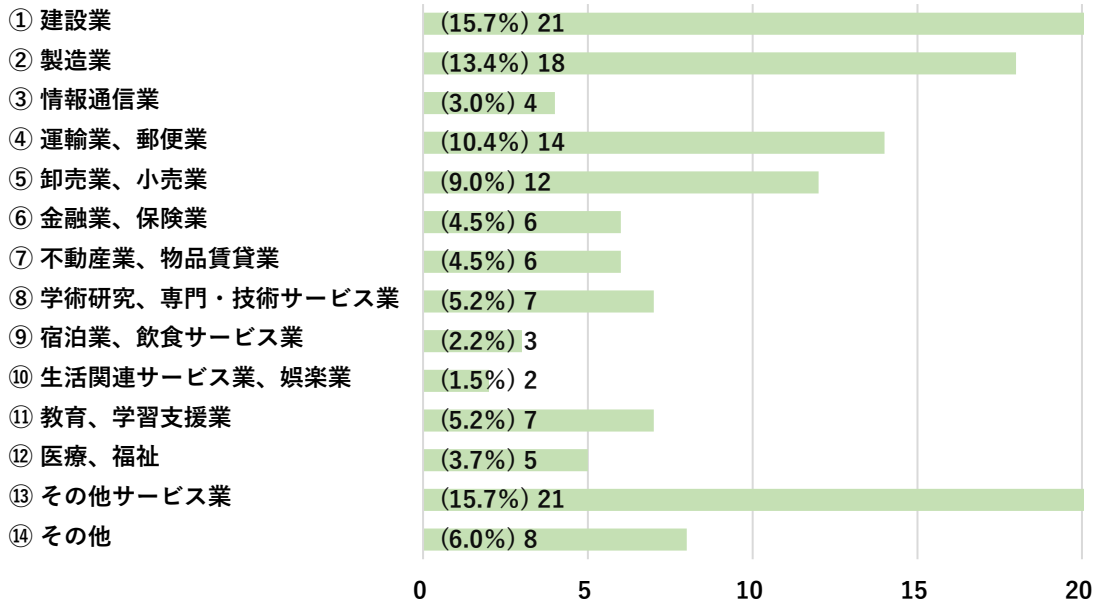
「仕事と介護の両立支援」アンケート調査結果

令和7年(2025年)11月
北海道保健福祉部福祉局

I 貴社の概要について

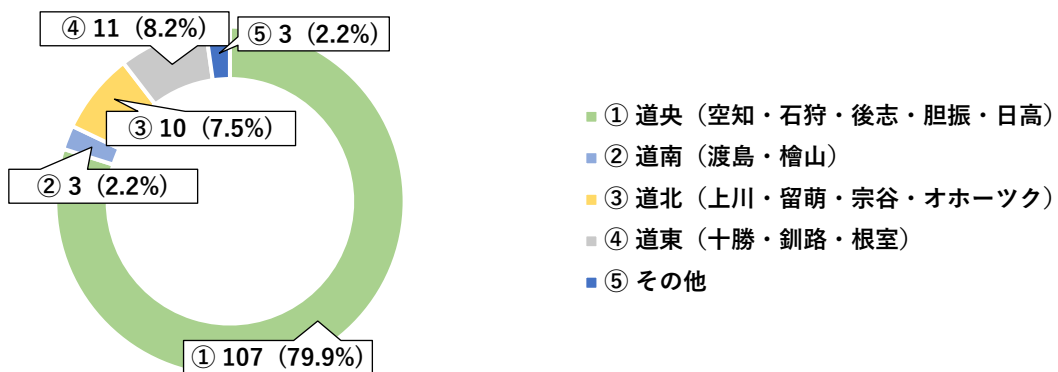
問1 貴社の業種（複数ある場合は売上高の最も高い業種）を1つお選びください。

「建設業」と「その他サービス業」（15.7%）の割合が最も高く、次いで「製造業」（13.4%）の順となっている。



問2 貴社の本社・本店・本所の所在地を1つお選びください。

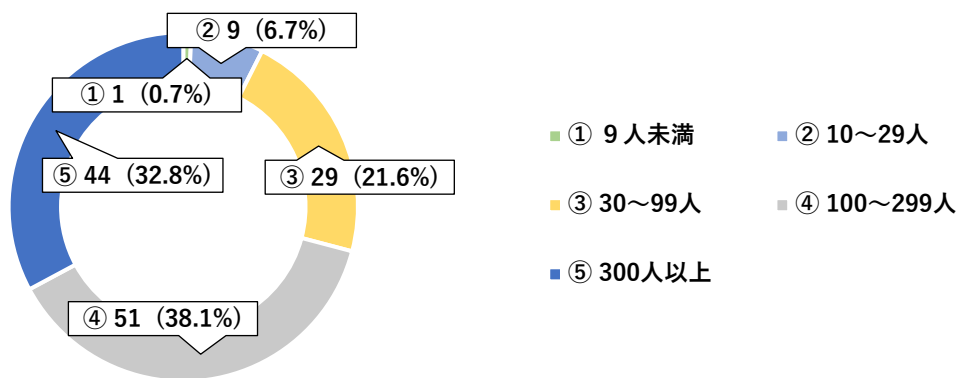
「道央（空知・石狩・後志・胆振・日高）」（79.9%）の割合が最も高く、次いで「道北（上川・留萌・宗谷・オホーツク）」（7.5%）の順となっている。



問3 従業員数を以下から1つお選びください。

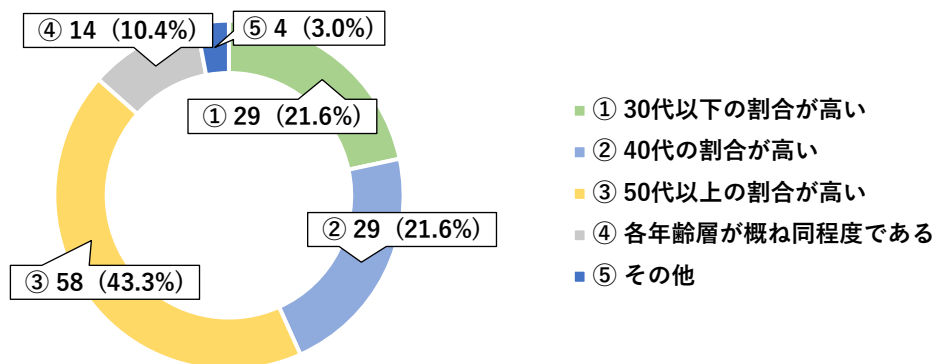
※ 役員を除き、常時使用する従業員数（パート・アルバイトを除く）

「100～299人」（38.1%）の割合が最も高く、次いで「300人以上」（32.8%）の順となっている。



問4 従業員の年齢構成の特徴について、貴社の状況に近いものを1つお選びください。

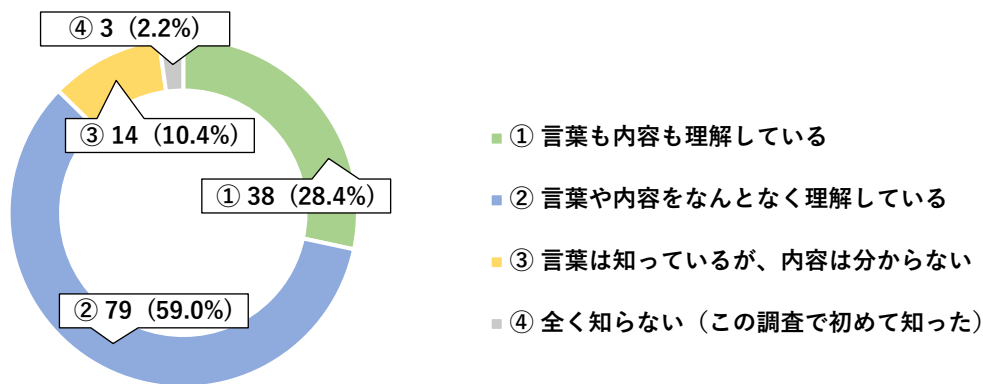
「50代以上の割合が高い」（43.3%）の割合が最も高く、次いで「30代以下の割合が高い」と「40代の割合が高い」（21.6%）の順となっている。



II 貴社における従業員の仕事と介護の両立支援についてお伺いします。

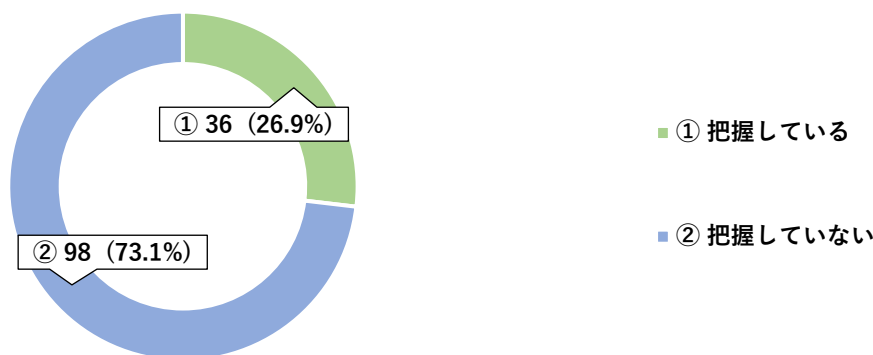
問5 あなた（回答者）は、「ケアラー」や「ヤングケアラー」という言葉をどの程度ご存じですか。

「言葉や内容をなんとなく理解している」（59.0%）の割合が最も高く、次いで「言葉も内容も理解している」（28.4%）の順となっている。



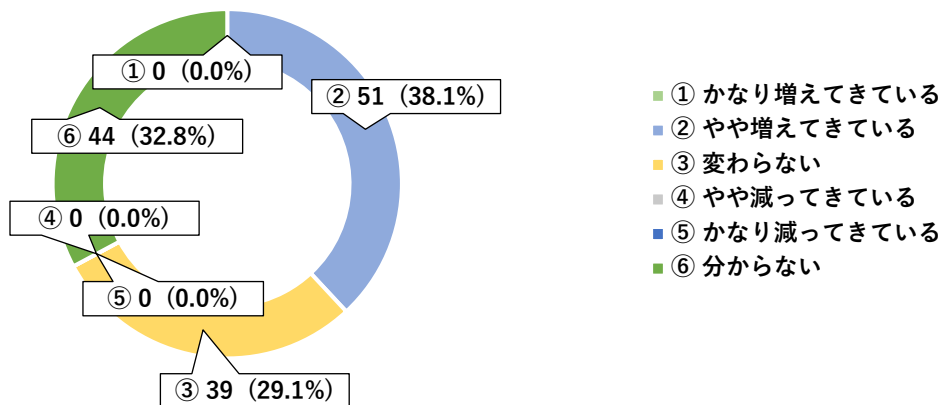
問6 貴社では従業員がケアラーかどうか、職務希望に関する申告書等によって把握していますか。

「把握していない」（73.1%）の割合が高く、「把握している」（26.9%）を大きく上回っている。



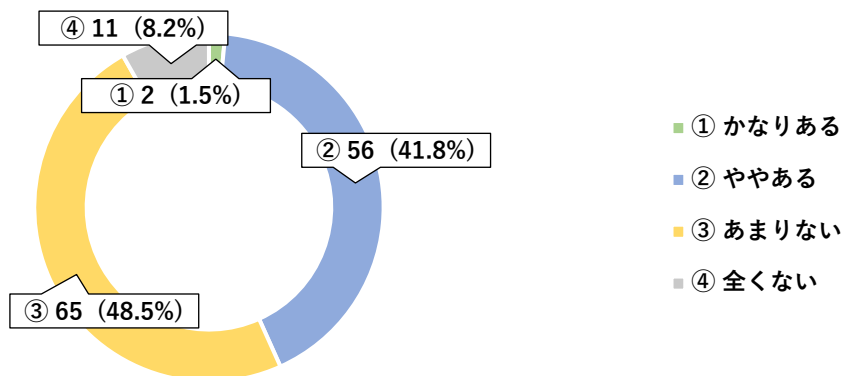
問7 貴社の従業員のうち、ケアラーは増えてきていると感じますか。

「やや増えてきている」(38.1%)の割合が最も高く、次いで「分からない」(32.8%)の順となっている。



問8 貴社内でのケアラーの増加(将来的な増加も含む)による業績や人事等への影響について、課題意識はありますか。

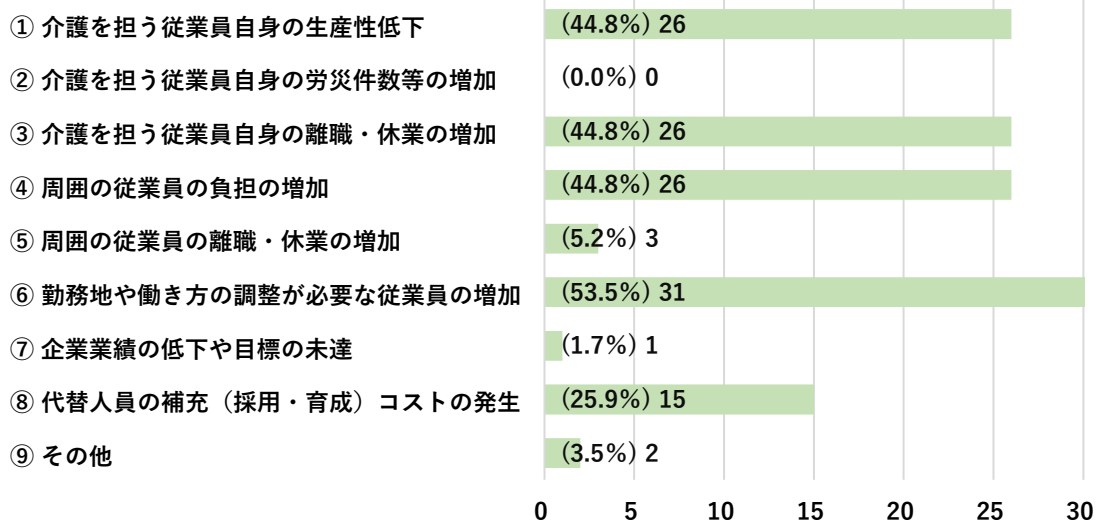
「あまりない」(48.5%)の割合が最も高く、次いで「ややある」(41.8%)の順となっている。



問9 ケアラーの増加に伴い、業績や人事等にどのような影響があると感じているか、以下のうち当てはまるもの全てをお選びください。

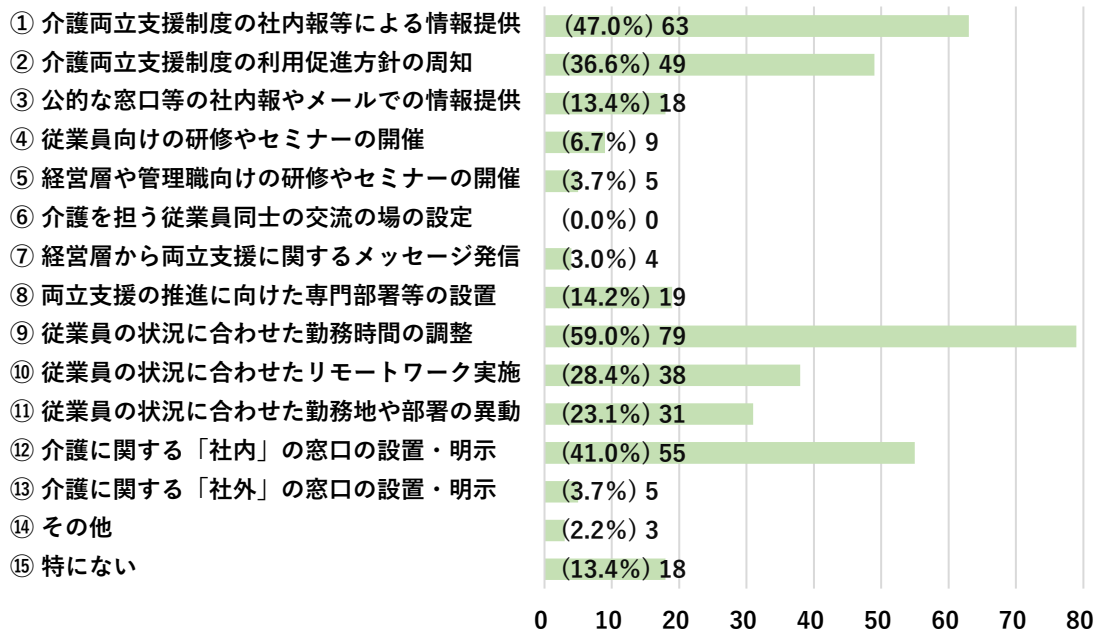
「勤務地や働き方の調整が必要な従業員の増加」（53.5%）の割合が最も高く、次いで「介護を担う従業員自身の生産性低下」、「介護を担う従業員自身の離職・休業の増加」、「周囲の従業員の負担の増加」（44.8%）の順となっている。

※ 問8で「かなりある」・「ややある」と回答した場合のみ回答（回答者数：58）



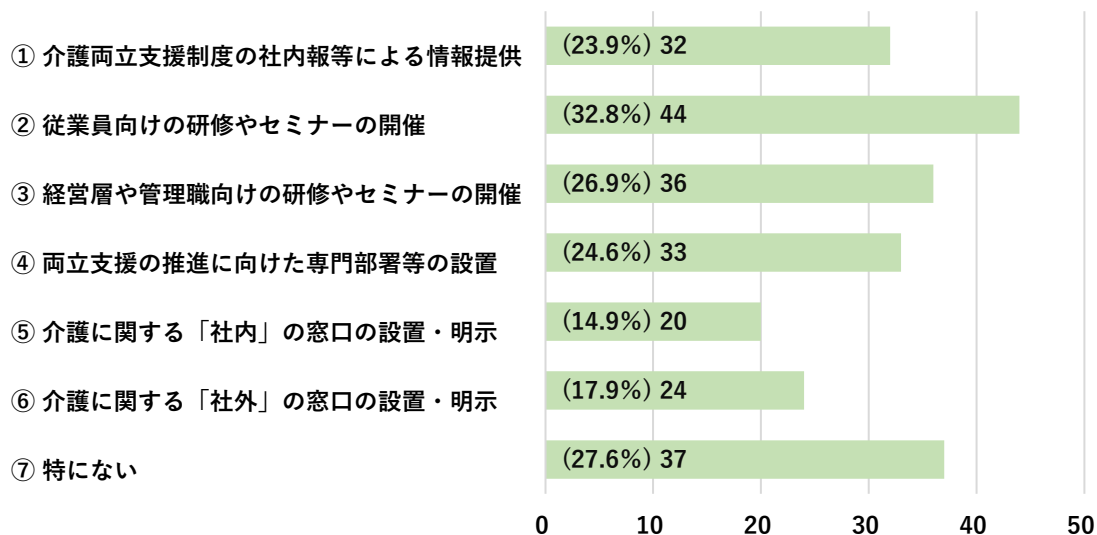
問10 貴社が「仕事と介護の両立支援」のために実施している制度や取組について、以下のうち当てはまるもの全てをお選びください。

「従業員の状況に合わせた勤務時間の調整」（59.0%）の割合が最も高く、次いで「介護両立支援制度の社内報等による情報提供」（47.0%）の順となっている。



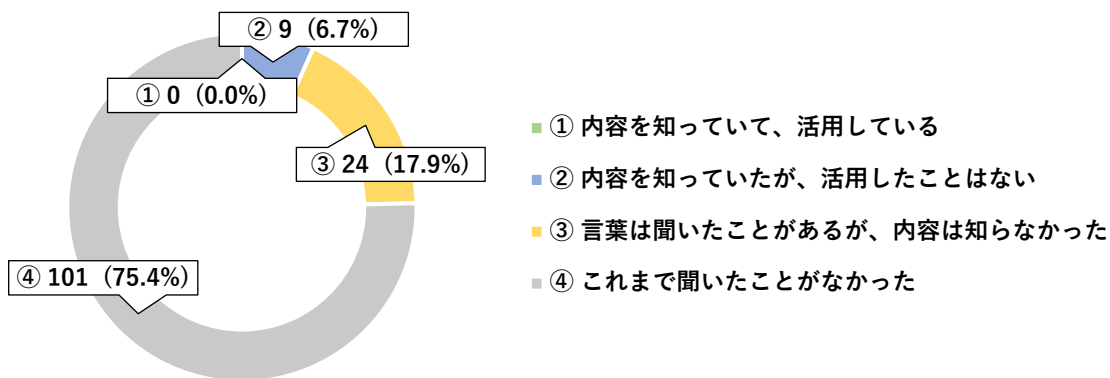
問11 以下の「仕事と介護の両立支援」の取組のうち、実施をしたいと考えているものの、実施が難しい取組について、当てはまるもの全てをお選びください。

「従業員向けの研修やセミナーの開催」(32.8%)の割合が最も高く、次いで「特
にない」(27.6%)の順となっている。



問12 日本介護支援専門員協会では、家族等の介護を抱えている社員等が、介護をしながら意欲的に働けるよう、企業における介護離職防止対策の企画や運用のアドバイス等を行う「ワークサポートケアマネジャー」の認定資格制度を運用し、ワークサポートケアマネジャーを企業に派遣していますが、ワークサポートケアマネジャーについてご存じでしたか。

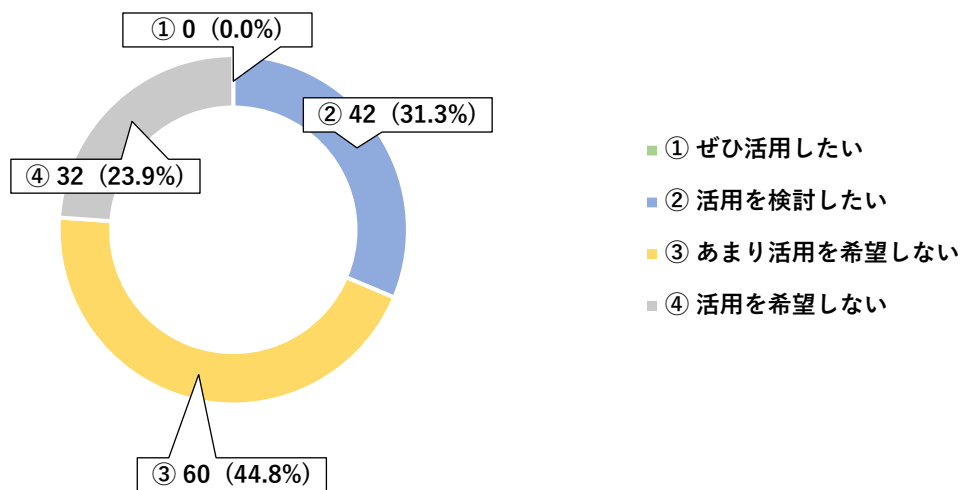
「これまで聞いたことがなかった」(75.4%)の割合が最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らなかった」(17.9%)の順となっている。



問13 長崎県では、令和6年度に仕事と介護等の両立に向けた環境整備に取り組む事業者を支援するため、希望する企業に対し、モデル的に「ワークサポートケアマネジャー」を無料で派遣する事業を実施しています。

もし、このようなモデル事業があった場合、利用を希望しますか。

「あまり活用を希望しない」(44.8%)の割合が最も高く、次いで「活用を検討したい」(31.3%)の順となっている。



問14 企業経営者、人事・労務担当者や当事者等を対象に、「仕事と介護の両立」をテーマとしたセミナーが開催されたら、参加を希望しますか。

「参加を検討したい」(56.7%)の割合が最も高く、次いで「あまり参加を希望しない」(23.9%)の順となっている。

